

2008年12月8日

防災ガラスの寄贈先（小学校・中学校）投票結果発表 ～地球と子どもの明日を考えるくガラスパワーキャンペーン～

AGC旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、くガラスパワーキャンペーンくでの地域防災への協力活動の一環として、従来より防災ガラスをインターネット投票結果をもとに、寄贈しております。今回、通算で18～20件目の寄贈先として、御所市立掖上小学校（奈良県）、小田原市立下府中小学校（神奈川県）と日野町立日野中学校（鳥取県）の3校が選ばれましたので、お知らせします。

なお、これまでのくガラスパワーキャンペーンくの取組は国際的にも評価され、第3回アジア防災閣僚会議プレ会議にて「民間企業の防災への優良取組事例」として紹介されています。

近年、地震や台風などの自然災害により、割れたガラスによるケガや避難場所のガラスが割れて避難できないなどの被害が発生しています。このような被害発生防止のため、当社は割れにくく、また割れても破片が飛び散りにくい防災機能を持った「合わせガラス」の普及および認知向上を目的とした防災ガラス寄贈活動を2005年10月より展開してきました。2008年は、寄贈先候補10件の中からキャンペーン会員によるインターネット投票により最終決定された指定避難所（年間5件）に防災ガラスを寄贈します。2008年第2期の投票結果は次の通りです。

【2008年度第2期 防災ガラス寄贈先投票結果】

投票期間：2008年11月4日から12月5日

投票総数：6,022票

投票結果：第1位（寄贈決定） 御所市立掖上小学校（奈良県） 1,611票

第2位（寄贈決定） 小田原市立下府中小学校（神奈川県） 1,405票

第3位（寄贈決定） 日野町立日野中学校（鳥取県） 1,327票

また、今般くガラスパワーキャンペーンくの取組によって、地域防災強化・指定避難所の機能確保という観点から、当社が「合わせガラス」の普及活動を行っていることを評価され、12月1日にマレーシアにて開催された第3回アジア防災閣僚会議のプレ会議においても、この取組を紹介する場を与えられています。更に、12月2日に発行された国連国際防災戦略事務局（UN/ISDR）が発行する刊行物（**Good Practices and Lessons Learned on Public Private Partnerships for Disaster Risk Reduction**）に防災活動の優良事例として掲載されました。

当社は、善き企業市民として、くガラスパワーキャンペーンくを初めとする取組を通じ、安心で安全な社会づくりに貢献していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC**旭硝子（株）広報・IR室長 上田 敏裕

（担当：貞包 TEL：03-3218-5408 E-mail：info-pr@agc.co.jp）

◎ガラスパワーキャンペーン事務局

（TEL：03-6238-4547 E-mail：glasspower@agc.co.jp）



（参考）第3回アジア防災閣僚会議プレ会議での様子